

第 291 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 26 年 7 月 11 日 (金) 13 時 30 分～16 時 30 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

(審議事項)

- (1) IASB 公開草案「開示に関する取組み (IAS 第 1 号の修正案)」へのコメント対応
- (2) IASB における保険契約プロジェクトの検討状況
- (3) IASB ディスカッション・ペーパー「動的风险管理の会計処理：マクロヘッジに対するポートフォリオ再評価アプローチ」の概要
- (4) IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況
- (5) 税効果会計専門委員会における検討状況
- (6) 専門委員の選退任

IV. 議事概要

(審議事項)

- (1) IASB 公開草案「開示に関する取組み (IAS 第 1 号の修正案)」へのコメント対応

関口常勤委員より、IASB 公開草案「開示に関する取組み (IAS 第 1 号の修正案)」へのコメント対応についての説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、これまでに行われた ASAF 対応専門委員会及び企業会計基準委員会における議論を踏まえて作成されたコメントレター案について前回からの変更点を中心に概要の説明がなされ、審議の結果、IASB に提出することが了承された。

- (2) IASB における保険契約プロジェクトの検討状況

新井副委員長及び丸岡専門研究員より、IASB における保険契約プロジェクトの検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、2014 年 4 月から 6 月に行われた IASB 会議における暫定決定の内容、第 9 回 (5 月 19 日開催) 及び第 10 回 (6 月 30 日開催) の保険契約専門委員会における検討状況、及び当該検討を踏まえた ASBJ の対応 (案) について、審議が行われた。

- (3) IASB ディスカッション・ペーパー「動的风险管理の会計処理：マクロヘッジに対するポートフォリオ再評価アプローチ」の概要

小野委員長及び板橋ディレクターより、IASB ディスカッション・ペーパー「動的风险管理の会計処理：マクロヘッジに対するポートフォリオ再評価アプローチ」の概要について説明がなされ、審議が行われた。

IASB では、企業の動的风险管理活動の財務諸表での忠実な表現と運用面での複雑性の低減を達成するためのアプローチ (ポートフォリオ再評価アプ

ローチ（PRA）を模索している。本 DP の主要な目的は、PRA が、動的リスク管理を会計処理するアプローチとして、財務諸表が提供する情報の有用性の増進をもたらすかどうか、また、どのようにもたらすのかを評価するとともに、運用可能かどうかを評価するためのフィードバックを利害関係者から得ることであるとされている。

なお、本 DP へのコメント対応として、今後、金融商品専門委員会における議論も踏まえて、コメントレターの提出（コメント期限は 2014 年 10 月 17 日）に向けた審議を続けていくことが予定されている。

(4) IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況

小賀坂副委員長及び紙谷ディレクターより、IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、第 16 回 IFRS のエンドースメントに関する作業部会（7 月 7 日開催）における議論を踏まえ、仮にのれんの非償却、リサイクリング及び当期純利益について「削除又は修正」を行うとした場合の取扱いを例として、公開草案の公表に向けて、会計基準の様式や内容等について審議が行われた。

(5) 税効果会計専門委員会における検討状況

小賀坂副委員長及び前田ディレクターより、税効果会計専門委員会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、第 6 回税効果会計専門委員会（7 月 10 日開催）において検討された「監査委員会報告第 70 号における取扱いの整理」及び「設例に基づく監査委員会報告第 66 号全般に関わる論点の検討」について、審議が行われた。

(6) 専門委員の選退任

新井副委員長より、専門委員の選退任について説明がなされ、承認された。

以 上